

第25回東北支部学術集会在開催されました

去る11月10日(日)に仙台赤門医療専門学校国分町校舎講堂で、「触覚・手触りと治療家の手」をテーマとして第25回東北支部学術集会在開催されました。

特別講演1

演題:「手触りを測る」 / 講師:東北大学大学院医工学研究科 教授 田中真美先生



私たち鍼灸師が日ごろから大切にしている「手触り」について、計測システムで数値化するという、治療家とは別な角度からの切り口で、非常に貴重なご講演となりました。

計測システムの開発や仕組みから計測結果まで、工学的な内容が多い中、身近に感じたもののなかに、市販のシャンプー・コンディショナー後の毛髪の手触り感の違いを検証するものがありましたが、システム上でも全く測定結果が違ってくるということに非常に驚きました。

特に、乳がんや前立腺がん・前立腺肥大症への応用については、医療分野ということもあり、どのように計測するかなど、大変興味深いお話となりました。

今後、治療家目線だけではなく、多角的な視点で様々な検証を行わなければ、時代の流れから取り残されてしまうのではないかと、改めて身が引き締まる思いで拝聴させていた

だきました(座長:相澤啓介)

特別講演2

演題:「触診の重要性と実際」

講師:洞峰パーク鍼灸院 院長 形井秀一先生



形井先生は著書「治療家の手の作り方」を執筆されており、鍼灸師にとっては切り離すことの出来ないテーマを、豊富な臨床経験と知見をもとに触診の大切さをお話いただきました。

現代医療(西洋医学)では画像診断など非接触診察が発展していますが、日本鍼灸においては、古来より診察から治療までの全過程で体表に触れる必要があることや、「生きたツボ」治療部位を特定するにも触診が大切であると、古典や歴史を交えてご講義いただきました。

特に実例として、耳鳴りに裏三里辺りを押圧すると軽減した症例であったり、夜間尿児の手足の温度の変化による施術結果の違いであったり、触診でしか知りえない症例があるご紹介いただき大変興味深く、改めて触診の重要性を認識いたしました。

当日、会場の席が満席になり、学生の方の現地参加も多く、大変貴重な機会になったかと思えます。(学術委員:栗和田健規)

□演発表1（一般発表）

演題「経絡の関係性を重視した経筋治療の応用～遠隔部治療の症例報告～」演者 福島県立視覚支援学校 教諭 小沢 薫 / 座長 ガネーシャ鍼灸院 院長 川嶋睦子

即効性の優れた症例発表の内容は、陽明経筋を使用した鍼灸治療で絡穴を切皮程度で5分、鍣鍼の併用も行うもので、経脈の関係性を重視した経筋治療のメリットを考察されました。

□演発表2（学生発表）

演題：「パイオネックスを用いた処理能力向上の効果について」

演者 仙台赤門医療専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科2年 瀬川佳恵 / 座長 滝澤 肇

仙台赤門医療専門学校の瀬川佳恵さんは、脳(髄海)に関係の深い経脈を刺激した計算能力の向上した先行研究をもとに、取穴部位を変え、無治療群と比較しての計算の変化、アンケートを行い新たな検証を行いました。アンケートの結果から刺激による集中力への影響を発表しました。

□演発表3（学生発表）

演題：「ツボ刺激による肌の水分量の変化」

演者 仙台赤門医療専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科2年 滝澤 肇 / 座長 佐藤雄大

仙台赤門医療専門学校の滝澤肇さんは、鍼灸の効果を目に見える形で説明できれば、魅力を伝えるツールになるのではないかと、という目的で皮膚の水分量を評価した研究を発表しました。刺鍼部位は顔面部、遠隔で三焦経、主水の腎経を使用し皮膚の水分含有量の変化を報告しました。

演題：「慢性腰痛に対する施術法の比較」

演者 福島県立視覚支援学校 専攻科3年 久保田健太郎 / 座長 福島県立視覚支援学校 教諭 小沢 薫

福島県立視覚支援学校の久保田健太郎さんは西洋医学・東洋医学的な鍼灸治療の腰痛に

対する効果の検証を行いました。1症例に対してアプローチを変え、痛みの変化を評価した結果として東洋医学的鍼灸治療効果が高かったことから、本症例からそれぞれのアプローチの使い分けを考察しました。(学術委員：石井祐三)

活況の会場 仙台赤門医療専門学校講堂



この日の会場は歴史ある仙台赤門医療専門学校の国分町校舎の講堂でした。リモート参加者を入れると約80名の参加者があり、非常に盛り上がりのある学術集会となりました。この後は会場を移動して5月に開催された第73回学術大会宮城大会の成功を祝しての祝賀会が開催されました。

今後も宮城大会の成功を支部発展につなげていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。(支部長：三瓶真一)

次回予告

次回は2025年(令和7年)1月19日(日)に福島県郡山市でB講座を開催いたします。テーマは『体表から診る・体表を刺激する』として、ファシア(東北楽天ゴールデンイーグルスチームドクター田中稔先生)とTST てい鍼(呉竹学園・船水隆広先生；実技たっぷりたっぷり!)による講義をハイブリッド+アーカイブ付きで開催します。